

令和 2 年度シラバス (英語科)

教科 (科目)	コミュニケーション英語 I	単位数	5 単位	学年 (選択群)	1 学年
使用教科書	VISTA English Communication I New Edition (三省堂)				
副教材等	Starting Over English --- Basic Drill 4th. Revised --- (京英) ベーシックジーニアス英和辞典 (大修館)				

1 学習目標

様々な話題について、聞いたり読んだりしたことを正しく理解する能力を養う。その上で、情報や意見などを英語で伝える力を身に付ける。また進んで他者とコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。語彙力を強化し、意欲的に学習に取り組む姿勢を育てる。

2 指導の重点

教科書を中心に使用し、英語を読む、聞く、話す、書くことをバランスよく学習する。英文の基礎を強化するために Starting Over English を授業の中で取り組み、随時提出を求める。また辞書を効果的に使いながら、自主的に語彙を増やそうとする態度を身につけさせる。家庭学習の動機付けとして、課題や小テストを定期的に課す。

3 学習計画

指導計画内容に変更が生じた際には、変更後の指導計画をお知らせします。

学期	月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法	
1 学期	4 月	Lesson 1	Kerama Blue	「慶良間ブルーってどんな海？」 B e 動詞・一般動詞	30	課題提出状況 授業態度 評価テスト	
		Lesson 2	Cool Japan	「日本でクールなものって何？」 疑問文・現在進行形			
	1 学期中間考査（5 月 20 日～5 月 21 日）						
	5 月	Lesson 3	Mexican Dishes	「メキシコ料理とは・・・」 過去形・助動詞 ・基礎力診断テスト	35	課題提出状況 授業態度 評価テスト パフォーマンステスト	
		Lesson 4	The Olympics	「オリンピックの歴史と目的」 S O V・S V O O・ S V O C			
	6 月						
		1 学期期末考査（7 月 3 日～7 月 5 日）					
7 月							
			1 学期復習				
2 学期	夏休		夏休み課題	1 学期の復習・2 学期の予習	35	夏休み課題テスト	
	9 月	Lesson 5	B a o b a b s i n Madagascar	「バオバブってどんな木」 不定詞		課題提出状況 授業態度 評価テスト	
		Lesson 6	Toothbrushing in Edo	「歯を大切にする文化を江戸に見る」動名詞			
	10 月	2 学期中間考査（10 月 3 日～10 月 7 日）					
	11 月	Lesson 7	Machu Picchu	「世界複合遺産マチュ・ピチュ」 現在完了形 ・基礎力診断テスト	35	課題提出状況 授業態度 評価テスト パフォーマンステスト	
		Lesson 8	M o t a l a a n d Landmine	「モタラ-地雷で足を失ったゾウ」 受け身			
	12 月	2 学期期末考査（12 月 4 日～12 月 9 日）					

				2 学期復習		
	冬休		冬休み課題	2 学期の復習・3 学期の予習		冬休み課題テスト
3 学期	1 月	Lesson 9	Dick Bruna	「ミッフィーの生みの親 ---ディック・ブルーナ」 関係代名詞	40	課題提出状況 授業態度 評価テスト ハﾟフォーマンステスト
		Lesson 10	Tsujii, the Great Pianist	「ピアニスト、辻井伸行」 関係副詞・形式主語 I t		
	3 学期期末考査		(2 月 18 日～2 月 21 日)			
	3 月	Lesson 11	Ideas from Nature	「自然からの贈り物」分詞構文		課題提出状況 授業態度 評価テスト
		Lesson 12	Steve Jobs	「スティーブ・ジョブズ」仮定法過去		
				春休み課題		1 年間の復習と来年度の予習
合 計					175	

計 175 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

普段の授業の小単元毎に単語練習プリントを課題とし、小テストを行なう。Starting Over English を提出する。長期休暇中にも課題を与え、確認テストを実施する。毎時間提出用プリントを作成し、授業ごとにノートやプリント類を提出させ、日頃の授業の取り組みや理解度を点検する。

5 評価基準と評価方法

次の 4 つの観点に基づき、学習内容のまとめり (定期考査までを学習のひとまとめり) ごとに下記のように評価を行い、学年末に 5 段階の評定として総括する。

- ① 関心・意欲・態度…授業に真剣に取り組み、理解し習得しようとする取り組み、ペアワークやグループ活動に取り組んでいる。
- ② 知識・理解……………文法・語句・語彙等を理解・習得し、背景の内容や文化についての知識を身につけている。
- ③ 技能・表現……………4 技能で各自の目標まで達成している。
- ④ 思考・判断……………テーマの趣旨を理解し、それに対する考えをまとめることができる。

100 点法で評価する。各定期考査 60 %、普段の授業の平常点 (授業態度、S.O.E. や授業プリントなどの提出物、小テスト等) 40 % の比率で評価する。

定期考査 (テスト) について

年間 5 回の定期テストを実施する。本文、及び授業時に明示する文法・構文等について十分練習し、理解しておくこと。また、テスト前に配付される対策プリントも参考にして準備しておくこと。

6 担当者からの一言

単語は、音・意味・綴りを理解し、反復練習をして確実に覚えるよう努力すること。授業内での発音練習や単語の暗記などの活動を、他の同級生と協力しながら単語や表現を覚えることに積極的に参加する態度を身につけること。学習した英文・教科書本文を何度も音読すると良い。言葉は使ってこそ身に付くことを理解し、読み書き練習に加えて、英語を口に出してみる活動をしっかりしてほしい。授業内で、分からないことがあれば放置せず、その時間のうちに教員に確認するなどして解決しておくこと。毎時間与えられるプリントをしっかり取り組み、毎時間完璧なものを提出できるようにすること。課題も出されるので、日頃からの家庭学習を習慣化すること。